

新人研修に鉛筆削り

アイコクアルファ 刃の使い分け体感

「削る」基本を体験
アイコクアルファ
(愛知県稲沢市、樋田
克史社長)は、新入社
員の教育の一環とし
て、刃物を使って手で
鉛筆を削る実習を行っ
た。同社のAP事業部



では航空機機体部品やエンジン部品などの切削加工を手がける。鉛筆削りを通して削ることの原点を体感してもらおう。

新入社員は削る部位によってナイフとカッターナイフを使い分け、慎重に手を動かし、安定した削りを実現するためにどう鉛筆や刃物を持てばいいか。安定性は金属の切削にも通ずるポイントだ。

指導した横井光治A
鉛筆削りを通して削ることの原点を体感してもらおう

SIGエンジニアリー
ダーは教える上で「最初からアドバイスするのではなく、まずは自身で工夫しながらやってみてもらおう」ことを意識。

体験した新入社員は「刃物の使い分けの大切さがわかった」「一度自分で考えてみることで身になると感じた」との手応えを得た。

同社は各事業部で独自の教育内容を企画している。冷間鍛造で自動車部品を製造するCF事業部では、自動機を多用している現場で発生し得る挟まれや感電といった労働災害を、体感装置を使って疑似体験する機会を用意している。